

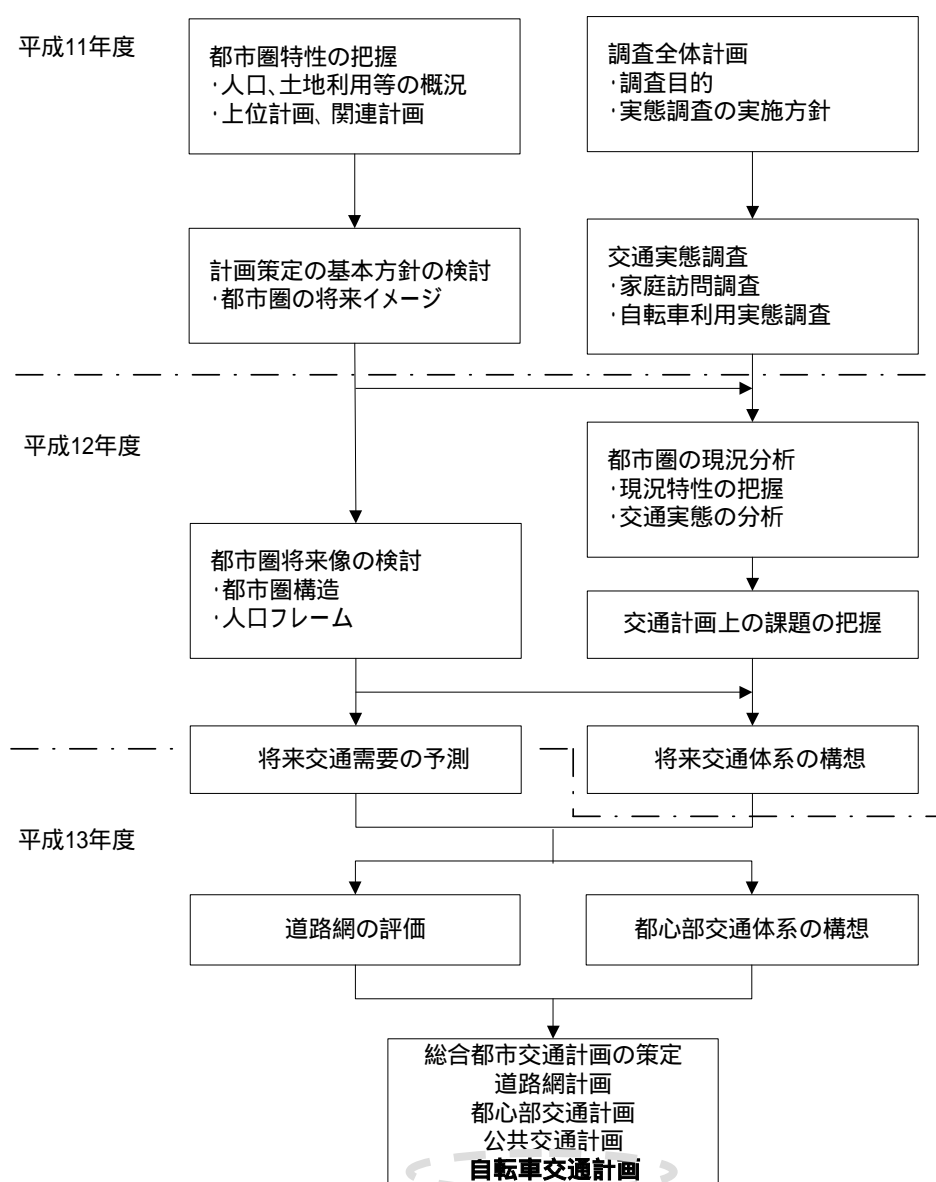
## 事例9：七尾都市圏新都市OD調査 (自転車交通計画の検討)

### < 本事例の特徴 >

実態調査：自転車交通計画の立案を目的として、「家庭訪問調査（PTタイプ）」と併せて「自転車利用実態調査」を実施している。

施策提案：自転車走行空間の整備、危険箇所の解消等を目的とした、自転車道ネットワークを提案している。

### (1) 調査の全体構成



## (2) 実態調査体系

通常の交通実態把握調査に加え、自転車による移動経路を把握することを目的として、「自転車交通実態調査」を実施した。なお、「自転車交通実態調査」は本体調査と併せて、付帯票として配布し、本体調査の対象世帯内の自転車保有者を調査対象者とした。

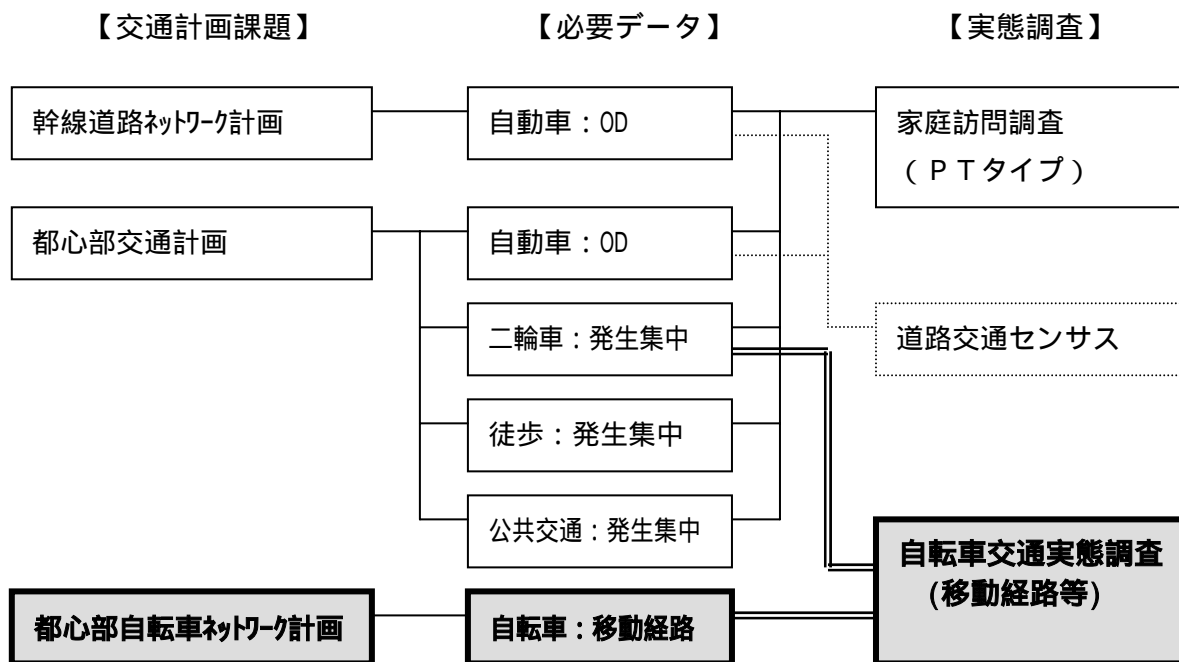
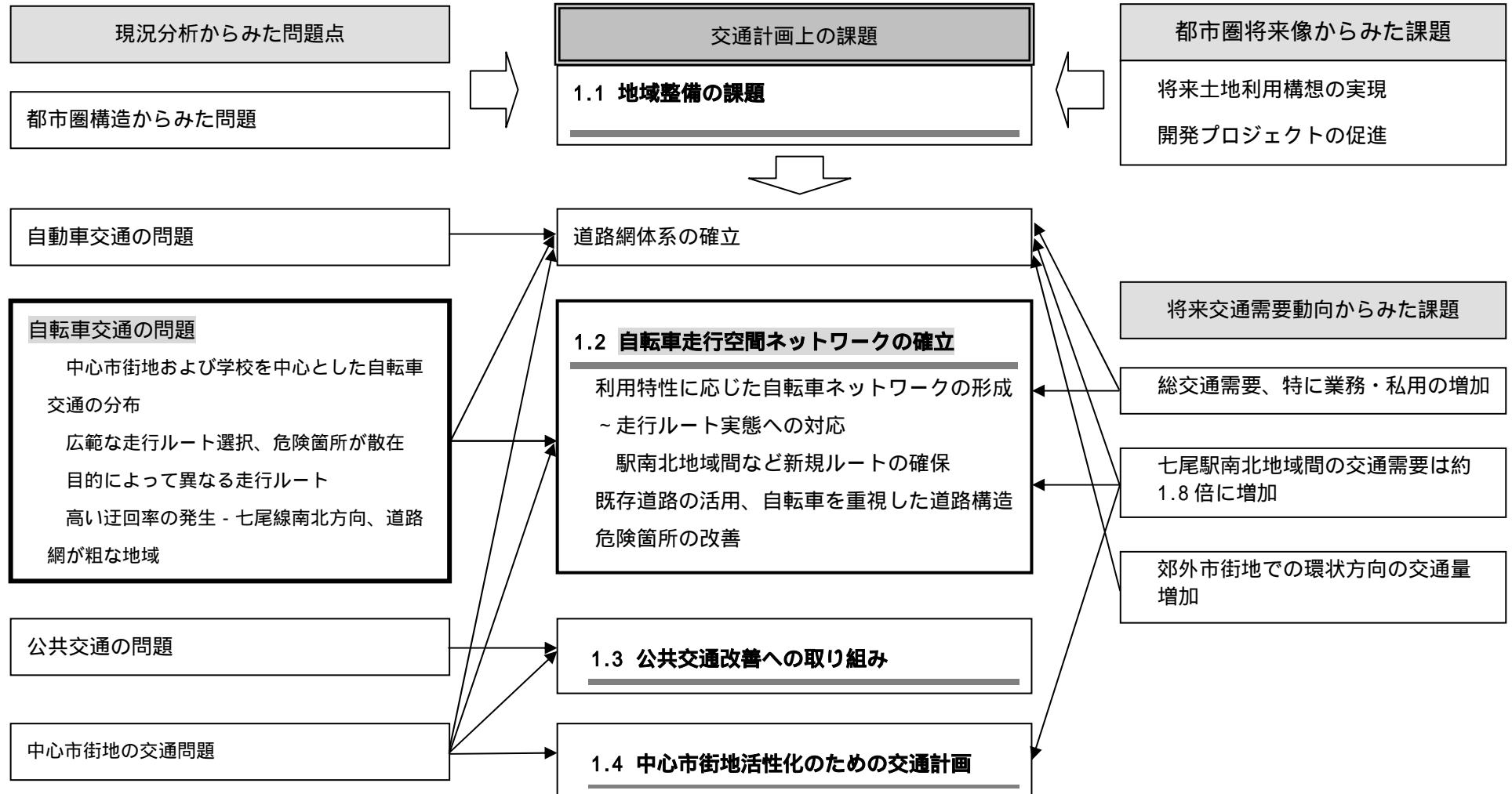


図 実態調査体系の設定

### (3) 自転車交通に関連した課題整理

現況分析及び都市圏将来像の検討より、交通計画上の課題を整理したものを以下に示す。



#### (4) 自転車交通に関連した現況分析例

自転車交通実態調査をもとに行った、自転車交通に関する現況分析例を以下に示す。

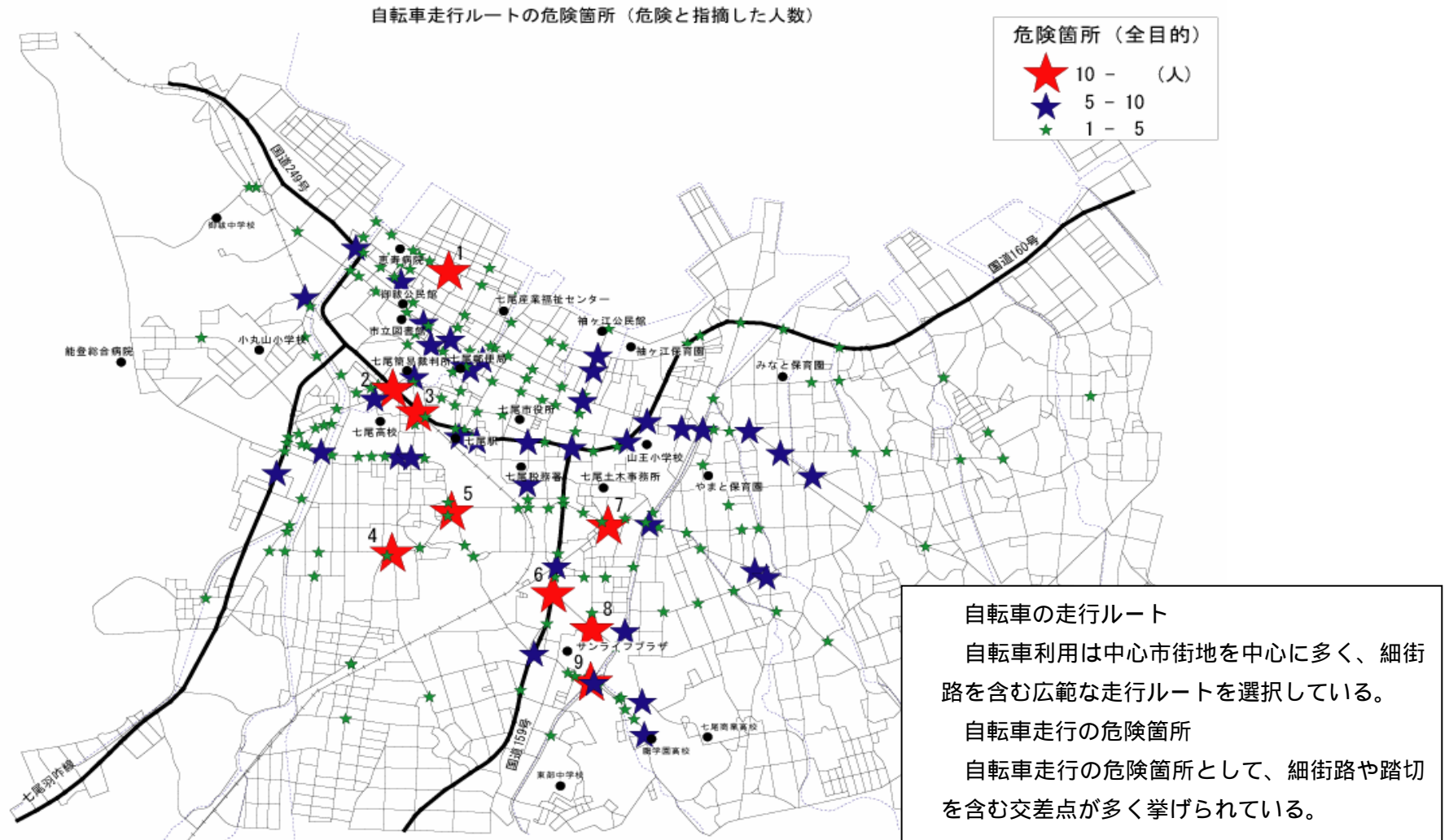


図 自転車走行時の危険箇所

## (5) 自転車交通計画に関する検討

### 1) 自転車交通計画の検討手順

自転車交通計画の検討フローを以下に示す。

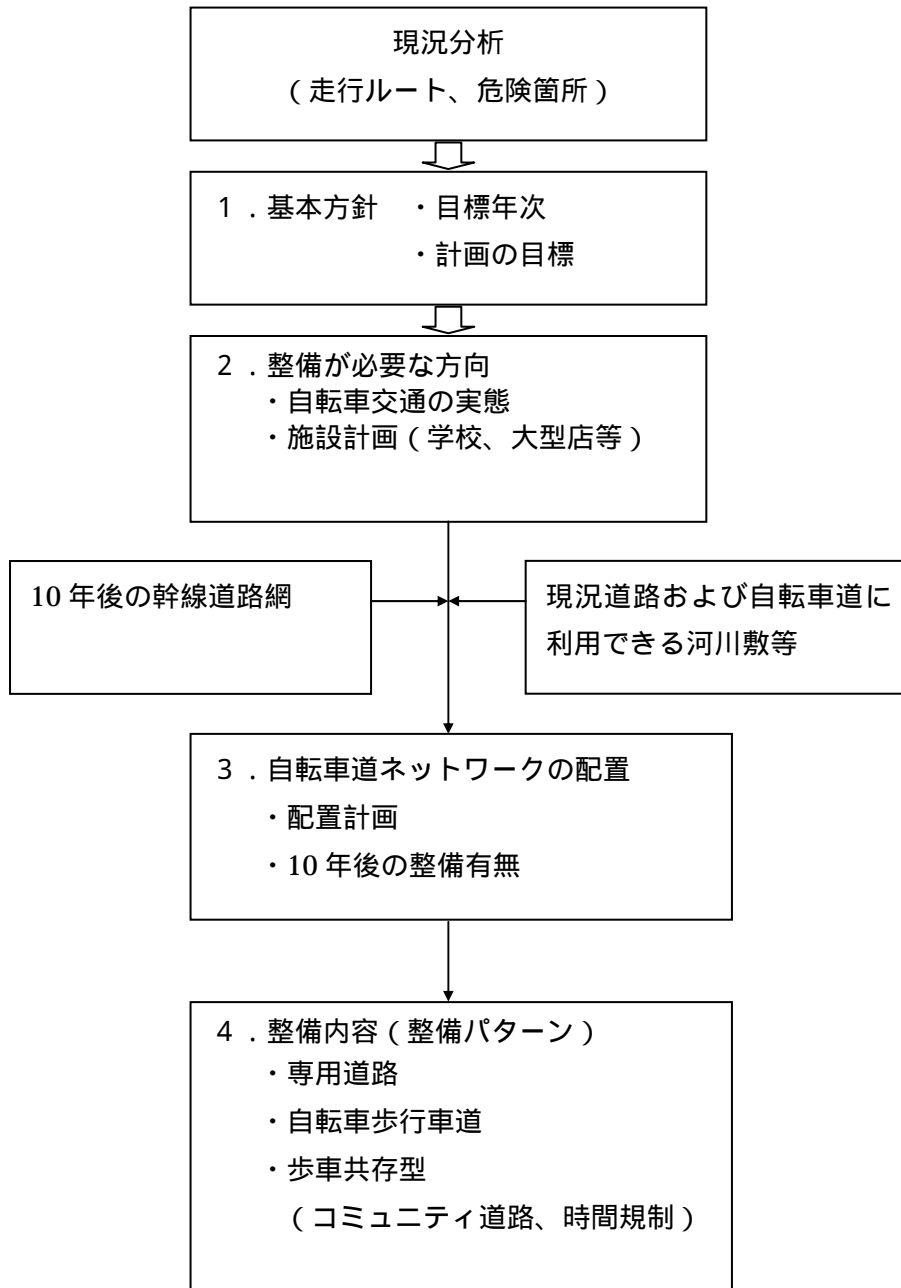


図 自転車交通計画検討フロー

2) 自転車交通計画の基本方針

短期的な将来における自転車道ネットワークの形成を目標に、10年後道路網計画にもとづく幹線道路の整備状況をベースに、計画を立案した。計画立案にあたっての目標は以下のとおりである。

自転車需要が多い方向に対応した自転車走行空間整備 学校・大型店等へのアクセス確保する自転車走行空間整備 現在の危険箇所を解消する整備 中心市街地の活性化に資する自転車・歩行者ネットワーク整備
--

3) 提案された自転車ネットワーク計画

自転車ネットワークの整備が必要な方向性をふまえ、10年後の道路網に基づいた自転車ネットワークとして、以下の案が提案されている。

整備が必要な方向		必要な路線
中心市街地における自転車ネットワークの形成		都心部の歩行者・自転車ネットワーク(4-3-2節)で示した路線
周辺市街地・施設と中心市街地間の自転車ネットワークの確保	希望の丘公園 城山運動公園 児童会館	市道(広域農道、郡町～矢田町方面) 大谷川沿い通学路 貨物線跡地
	ナッピーモール サンライフプラザ 能登国分寺歴史公園	(都)七尾金沢線(国道159号)
	アスティ	(主)七尾羽咋線
	東西方向の連絡	東往来と西往来を結ぶ市道
	七尾短期大学 能登総合病院 石川県七尾美術館等	(都)外環状線 249号バイパス
	東雲高校へのアクセスルートの確保	(都)七尾金沢線(国道159号) (主)七尾羽咋線 JR七尾線沿いの市道 白馬～徳田駅への市道
駐輪場	主要施設へのアクセス	駅前 パトリア前 能登食祭市場前

■ 自転車ネットワークの配置

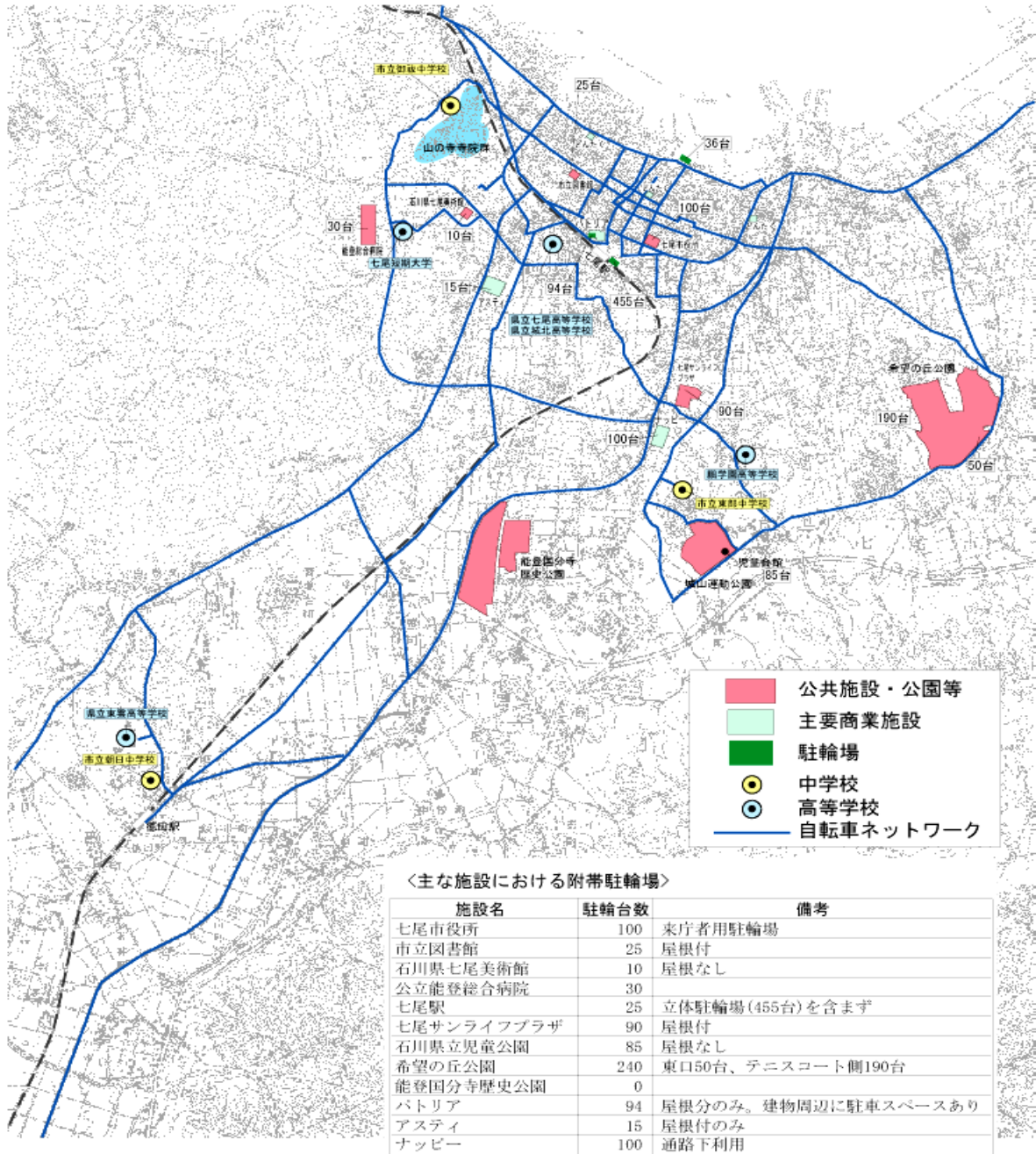


図 自転車ネットワークの配置